

市民との意見交換会・報告書

開催地区：大戸地区	開催日時：令和5年11月13日（月） 18時30分 ～ 20時10分
担当班：第1班（出席議員）大竹俊哉、笹内直幸、長谷川純一、大山享子、松崎 新	
開催場所：大戸公民館	
参加人数：男性 15名、女性 1名、合計 16名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など	
1. 意見交換の総括	
(1) 議会報告、市政全般についての総括	
① 9月定例会議について 湊学園の開校に向けた質問が出された。	
② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 市道、林道の維持管理、水道の水圧について要望があった。	
(2) 地区別テーマについての総括	
① 地区別テーマ 地域づくり ～地域づくりビジョンに基づく活動～	
② テーマ設定の理由、背景 令和2年6月「大戸まちづくり協議会」が設立され、住民による地域づくりが進んでいる。事例を学び課題解決に向けた意見交換ができた。	
③ 主な地域課題 人口減少と若い世代、子どもの数が減少している。そのため、地域コミュニティが維持が困難になる中でどのように地域活性化を行うのか。	

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
<p>湊地区は子どもが減少してそのため義務教育学校として湊学園を設置することになったのか。河東学園もあるが、どのような位置付けか。また、地域の課題解決に向けた効果は、どのようなことがあるのか。市内の学校でも児童生徒の減少傾向というのは、ないのか。市は学校の統合も考えているのか。</p>	<p>湊小中学校を学園にすることは、地域の方と教育委員会が話し合い進めてきた。その中で子どもの数が減ってきているとの話が出された。市内の学校の大きい学園として河東学園、小規模として湊学園の位置付けとなる。人口減少が全市一斉に進んでいる。市の中心部の小中学校も少子化が進んでいる。特に中山間地、田園地帯で進んでいる。湊小学校、神指小学校、永和小学校は、10人以下の児童数の学年がある。私が住んでいる門田小学校も2クラスの時もあった。児童数が多いのは、小金井小学校と一箕小学校である。そして大戸小学校、大戸中学校は、小規模特認校の位置付けである。大戸地区では、地域の皆さんと話し合いをして、小規模特認校を選択した。学校の統合については、小中学校だけを考えるのではなくて、地域全体を考えなければならない。現在、教育委員会としての方針は、統合は今の時点で考えていない。</p>	○	①		教育委員会
<p>黒森地区の道路事情は大変悪くなってきている。市道、林道共に側溝があるが落ち葉や土砂で埋まり、雨が降ると道が川になっている。また、木の枝、雑草が道を覆う箇所があり、そのため集落では、草刈りや土砂上げ等できることを行っているが限りがある。市へ要請しているがやっていただけない箇所がある。これからの黒森地区の車の移動が心配である。</p>	<p>大変な状況になってる報告である。側溝の土砂上げ、道路の維持修繕の費用がかかる。林道の修繕と並行して林道の延長工事が行われている。限られたお金が新規林道建設に付けられ道路の維持管理の方に十分にお金がまわらない。非常にそこが問題である。住民の生活路線については、最低でも危険な場所はすぐ修理する。そうすると優先順位低いところについては、手をつけることが困難な現状となっている。</p>	○	①		道路

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
生活道路に優先順位はあるのか。私はないと思う。生活道路を優先順位でやってもらっては困る。黒森地区の道が悪い。市に言っても直してもらえない。閤川地区の道が悪く細い道路、上小塩地区の旧道は雨が降れば土砂が崩落し通れない時がある。そういう生活道路が大戸地区にはある。道路の維持修繕の優先順位は間違いだと思う。住民の困らない本当に危険な場所、危険な道路を修繕すべきであると思う。	優先順位というのは、市道、公共施設もそうだが修繕するのに優先順位を作っているのが現状である。ただ、緊急的な場合は、これは直ちに修繕しなくてはならない。市の限られた財源の中で先ほど説明したように、財源の関係で非常に厳しい状況がある。議会としては皆さん困っていることを理解はしているが、議会、議員の判断で約束ができる制度はない。あくまでも議会、議員として住民から聞いた声を執行機関の方に届けることしかできないのかなと思っている。	○	①		道路
その説明は、本当に理解するが、議員から優先順位でできないとは言わないでほしい。					
黒森地区は、道路わきの雑草、樹木、側溝等を集落で管理している。国道118号線から黒森集落まで距離が長いので、集落だけの管理が難かしくなっている。市が人手を出す、機械で整備する等助成してもらえないか。	生活道路に対して機材を出す、人を配置してほしいということだが、具体的には草刈りのことか。	○	①		道路
草刈作業である。市に対して、集落で草刈り、枝切りを行っている。枝切りの際に高所作業車を借りたいので、補助していただけないか話したところ、認めていただけなかった。	後日、担当に聞き回答する。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P11に記載)	道路
市道の草刈りで、市から補助金をもらい集落で行っている。将来集落でできなくなった時はどうなるのか。	市からの委託を受け草刈りを行っていて、集落の人出が少なくできなくなったら市に話をして委託をやめることになるのではないかとと思われる。なお後日、担当課に聞き回答します。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P11に記載)	道路

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
道路の維持管理の手法だが、年間を通して地区ごとに維持管理を予算化して補修することはできないか。そうすれば計画的に決まった業者が作業できる。いかがか。	会津若松市は、道路を民間委託で管理することを研究している。具体的には、除雪、排雪を松長地区をモデルに行っている。将来的には、道路にも応用することも考えているようである。黒森地区の道路管理の話が出たが、今後は、この問題に対応できるのではないかと議会も研究する。	○	①		道路
黒森地区に除雪の課題がある。現在私がオペレーターをしており、黒森集落から国道118号線まで除雪を行っている。スクールバスはタクシーで行っているが、6時45分には集落に来るので、それまで除雪をしなければならない。また、将来誰がオペレーターを行うのかの課題を抱えている。	オペレーターの課題は、全市的な課題となっている。	○	①		雪害対策
水道の水圧がここ最近弱くなってきていて、水圧の影響でボイラーが止まってしまう。市の水道局に電話をして担当者に来ていただき水圧を計ってもらった。その後の対応はいまだにない。	芦ノ牧地区の上水道は、浄水計画の見直しが検討されている。水道の水圧のことについては、上下水道局に行き調べた上で、後日報告する。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P12に記載)	水道
芦ノ牧地区の住所のことだが、今までの家を解体し新築した。その後、住所に居平がなくなった。他の家庭では居平が、ついている。なぜなのか教えてほしい。	後日調査して報告する。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P13に記載)	住居表示

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり ～地域づくりビジョンに基づく活動～

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>まちづくり協議会の理事長と区長会の会長をやっている。大戸地区まちづくりについてだが、まちづくりに参加してる人は、活動をわかっているが、大戸町で何人まちづくりの活動を知ってるかが問題だと思う。大戸地区のまちづくりが成功するためには、まちづくり協議会が大戸町の全町民がわかるようになれば、成功だと考える。現在、何人の方が知ってるか私もわからない。活動は、7月の会津児童園の子どもの交流、8月はマルシェの開催。婚活イベント、そのほかにもイベントを開催してきた。また、本日の議会が作成した資料は、活動内容よく調べてもらい、ありがとうございます。</p>	<p>令和4年5月の大戸地区市民との意見交換会で、大戸地区におけるまちづくりについて話を伺った。本日は、令和2年度に大戸まちづくり協議会が設立してから令和5年度NPO法人大戸まちづくり協議会の活動内容をまとめた資料を準備してきた。大戸・地域づくりビジョンを作成、全体で取り組むものと産業部会、ほほえみふくし部会、すこやかちくりん部会で取組みごとを大戸・地域づくりビジョンに掲げ、それに基づく活動を行っている。令和5年度は組織活動をNPO法人大戸まちづくり協議会に引き継いでいます。令和4年5月の市民との意見交換会では、3部会の活動について教えていただいた。本日はそれ以降の活動について、良くなっていること、課題としてあるものそして議会に話したいことを教えていただきたい。</p>	○	②	
<p>地域の住民がみんなで力を合わせようとならないと、まちづくりは難しい。まちづくり協議会に各地区の区長だけが参加する地区がある。これからは、区長代理、会計の方も含めて活動に参加してもらうことを考えたい。私は、人材確保が一番の問題だと思う。そのためには、町民の人たちに理解してもらい、知ってもらうことである。また、住民への広報が大事だと考える。例えば、大戸公民館の「大戸公民館だより」等の広報紙を使い、住民にわかるような周知徹底が必要だと感じています。周りから区長だけが何か活動していると思われていては、しょうがない。これからもまちづくり協議会の活動をしていく。議会の方には、ぜひご協力をお願いします。</p>		○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり ～地域づくりビジョンに基づく活動～

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>現在、大戸小学校で学校の協力をいただき児童と祭囃子の練習をしている。香塩地区の方が、指導者として入り大戸小学校で練習をしている。これまでは、祭囃子を大戸小学校で発表する、また、大戸地区敬老会で発表するだけだったが、実際の祭りの時に小学生を参加させたいと考えている。それが実現できれば、小学校ともっとつながることができる。今年度は、新型コロナウイルスのために祭り自体が中止になった。山車の補修については文部科学省から補助が出て修復された。山車のお披露目ができなかったことも残念に思う。また、南原地区、香塩地区、大豆田地区、3地区の祭りは歴史があり、今後は大戸町の祭りにできないだろうかと思う方もいる。話し合いをして進めたいと思っている。</p>	<p>今、2人から話をしていただいた。前回の報告では、南原地区、香塩地区、大豆田地区は、それぞれ山車を保有していて祭りの際に地区を練り歩いている。そこで、大戸小学校と連携して3地区以外の子どもも参加して大戸町全体で祭りを盛り上げたいとの考えを聞いた。どのようになっているのか教えていただきたい。</p>	○	②	
<p>香塩地区では、今回文化庁の方から補助金を受けて、山車を直した。補助金を受けたことで5年間の活動内容を報告書で提出することになっている。また、南原地区でも山車を直したので今年は山車のお披露目もしたいと考えていたが、新型コロナウイルスの関係で祭りが中止となった。山車については、組立てをしたが、組立てが難しくなってきた。お囃子については、中止が3年続いたため区内での笛、太鼓の練習の機会がなくなり継承が難しくなっている。お囃子をできる人は、区内にまだいるが少なくなっている現状である。そこでお囃子について小学校の児童と連携を考え現在実施している。令和6年は祭りを実施したいと考えている。</p>	<p>北会津の川南地区では、彼岸獅子の継承のため川南小学校の児童に彼岸獅子を教えている。小学校の児童と一緒に祭りの継承に向け取り組むことはよいことですね。「産業部会」「ほほえみふくし部会」「すこやかちくりん部会」の3つの部会が活動していますが、これまでの活動内容を教えてください。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり ～地域づくりビジョンに基づく活動～

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>主な活動として、産業部会はマルシェを開催、ほほえみふくし部会は、閘川地区でレンタカーによる住民へのボランティア輸送、すこやかちくりん部会は、児童園との交流会が主なものです。産業部会では、ハックルベリーのジャムとハックルベリーの生をつくりマルシェで販売した。今年は、ジャムを200本作り、さらに生のハックルベリーを売った。販売場所は、会津鉄道の芦ノ牧温泉駅売店、大戸地区マルシェ、市のイベント会場で行った。課題としてあるのが、冷凍したハックルベリーとジャムが残っている。また、ジャムにする手数料の関係で販売額は1,100円の設定だが思うように売れなかった。</p>	<p>ハックルベリーのジャムを加工していただいているお店はどこですか。</p>	○	②	
<p>市内の食品会社と契約している。ジャムの加工と保存そしてジャムを保管していただいている。</p>	<p>ハックルベリーの販売先について、マーケット、市場の開拓についてだが、東京都の福島県の物産館が、日本橋にある。また百貨店でも健康によく自然農法で多少金額が高くても購入する方がいる。これまでの事例では、米と酒そして野菜と加工品が売れている。相手方は、販売品のバリエーションを増やしたい意向があると聞いている。</p>	○	②	
<p>ほほえみふくし部会で行っている閘川地区のボランティア輸送活動は、大戸まちづくり協議会が実施した閘川地区アンケートで多かったのが、公共交通が無いことによる住民の足の確保についての要望が多くあった。そこで、レンタカーでボランティアによる2週間ごとに、週1日3往復運行している。今年は冬期間も運行することになった。</p>	<p>次に閘川地区のボランティア輸送の事業について教えていただきたい。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり ～地域づくりビジョンに基づく活動～

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>高齢者の方への訪問をさせてもらっている。訪問先の高齢者から切実に訴える内容があった。それで本日参加した。大戸地区から銀行がなくなる。郵便局もやがて無くなるのか。病院が無い。バスも不便になった。本当に住みづらいまちになった。この内容は、まちづくり協議会等も含めて検討が必要なのかと思う。これから高齢者が増える。やがて自分もお世話になることになるのかと思ったときに、いろんな面で手立てがないのかと思っている。</p>	<p>湊地区でも同じようなことを言われている。高齢者がお金をおろせなくなっている。生活してる人たちの交通の便が悪い、バス代が高いと話されている。議会としても、本当に何ができるのか考えていきたいと思う。</p>	○	②	
<p>まちづくりのことだが、先ほどまちづくり協議会の知名度、町民の方にどれだけ浸透しているか疑問だということだが確かにそう思う。マルシェなんか買い物に来る人は、まちづくり協議会でやってることが分かるが、それ以外の人は、ほとんど興味がない、そんなふうになっている。一つ提案として、毎月1回、まちづくり協議会の定例会があるが、その中に町民の若い人、20代、30代、40代とかそういう人も含めて定例会に参加していただく、特に独身の方に参加してもらえればいいのかと思う。そこに参加した町民の意見を聞くことだと思う。また、ラーメン店、蕎麦屋もあります。町民全員参加のラーメン祭のイベントを行うことだと思う。そうしたイベントを通し町民の方がまちづくり協議会を理解してくれると思う。</p>	<p>周知が必要だと思う。また、芦ノ牧温泉があり観光で来られる方に購入していただき、SNSで外にも広がる、そのような情報ツールを使っていただくことを考えてみてはどうか。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり ～地域づくりビジョンに基づく活動～

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>AIによる自動運転のバスは、スマホで予約すると、最短の距離を自分で計算して、一番近いルートで人を運ぶことができる。会津若松市が、AI自動運転バスを取組んでください。また、まちづくり協議会のなり手不足、若い人たちがいないとの話が出された。私の地区でも若い人たちはいるが、地区の行事に参画しない状況である。若い人を取り込まないと継続的な活動は難しい。例えば、青年部会を作って青年部会員として会議の方に参加してもらおうことだと思う。大戸地区以外の若い人たちが来て一緒に活動することもいいと思う。学校行事にハックルベリーの収穫を課外授業で一緒にやっていくこともよいと思う。若い人たちと一緒に活動することに力を入れていくことだと考える。</p>	<p>先ほどのAIの自動運転バスについては、今、全国各地で実証実験やっているが、事故等の課題、問題がある。会津若松市は、タクシーの相乗りによる事業を行っている。複数の利用者が、スマホで乗車の申し込みをしてどの利用者の順番を先に行くのかAIで判断する乗り合いタクシーをやっている。AIの自動運転バスは、国中で、実証実験を行っているが、無人による自動運転はまだ許可されていない。若い人の参加については、湊地区に行ったとき教えていただいたが、湊地区もまちづくり組織に若者が参加していただくことに最初失敗したところで、若いときの自分たちの感覚で話をしたら引いてしまった。その後、自分たちの世代でもやってきた集落での酒飲みを地区全体で呼びかけ酒飲みをしたそうだが、その席で酒を飲みながら、将来の湊地区について話し、若い人のやりたいことを支援して若い人がまちづくりに参加してくれるようになったと聞いている。</p>	○	②	
<p>2年前区長会が市に要望して移動販売が実現した。コープの移動販売車が週1回来てくれる。</p>	<p>高齢者のバスのことが話されたが、買い物はどうされているか。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域づくり ～地域づくりビジョンに基づく活動～

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>今年から、大戸小学校、大戸中学校が小規模特認校になり、大戸小学校に児童が8人、その後会津児童園に1人入り、7人が通学している。大戸中学校に3人通学している。一番の問題と考えているのが、通学の交通費である。現在の教育委員会は、希望して大戸小学校、大戸中学校に通学しているのだから個人負担が原則との考えである。私は、義務教育であり子どもの学ぶ権利から教育委員会が通学費を補助すべきと思っている。しかし、教育委員会はそういう認識ではなかった。様々な理由で大戸小学校、大戸中学校を選んでいただいた子どもや家庭への支援があつていいのではないかと考える。今年、まちづくり協議会は、年間5,000円を入学祝い金として支給した。ここで議会へお願いだが、来年度以降からは、通学の交通費の補助交付についての支援をお願いします。</p>	<p>9月定例会議、総務委員会の第1分科会で、大戸まちづくり協議会の取組み、そして地域の活性化に係る大戸小学校と大戸中学校の小規模特認校について、若者の定住、地域の活力の点から質疑を行った。教育委員会の視点からではなく、企画政策部、地域づくり課からの視点で答弁を求めたところ、どのようなことができるのか検討したいとの答弁があつた。</p>	○	②	

市民との意見交換会・事後処理報告書

大戸 地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 高所作業車について (P 3)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 草刈作業である。市に対して、集落で草刈り、枝切りを行っている。枝切りの再高所作業車を借りたいので補助していただけないか話したところ、認めていただけなかった。</p> <p>【事後処理結果】 ・建設部道路課からの回答（令和5年12月8日） 高所作業車については、市は所有していません。そのため市から直接高所作業車の貸し出しを行っていません。民間のリース車両への補助については、地区で行う高所作業は危険性もあることから補助は考えていません。必要な枝切りがある場合は、道路課へ相談ください。</p> <p>議会は、出された要望について担当課に問い合わせいたします。担当課と話し合ってください。</p>	
<p>2. 集落の草刈りについて (P 3)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 市道の草刈りで、市から補助金をもらい集落で行っている。将来集落でできなくなった時はどうなるのか。</p> <p>【事後処理結果】 ・建設部道路課からの回答（令和5年12月8日） 将来への不安のことですが、道路通行に支障がある場合等、必要に応じ、市による草刈りを実施します。</p> <p>議会は、集落で行うことが困難な時は、担当課に話をさせていただきたいと考えます。</p>	

市民との意見交換会・事後処理報告書

大戸 地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>3. 水道の水圧について (P 4)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 水道の水圧がここ最近弱くなってきていて、水圧の影響でボイラーが止まってしまう。市の水道局に電話をして担当者に来ていただき水圧をはかってもらった。その後の対応はいまだにない。</p> <p>【事後処理結果】 ・上下水道局水道施設課の回答（令和5年12月20日） 大戸浄水場の施設・整備の老朽化が進行しています。また、今後大戸配水区の配水量は年々減少する見込みです。そのため、コスト削減、安定供給・リスク管理の観点から大戸排水区施設改修について調査し整備内容を検討します。</p> <p>お質しの件ですが、令和4年9月26日に水圧が低いと連絡を受け謝罪と調査を行いました。令和4年10月18日電話で現状についてお聞きしたところ、その後は特に水圧低下は感じられないとの回答でした。その際、設備を改良することを検討していることも伝えました。議会の問い合わせにより、上三寄地区において水圧変動（水圧低下）が発生していることが確認されました。水圧低下を含み課題解決に向けて具体的な案を検討中です。尚、令和5年12月6日に現場確認と、本人に説明してまいります。</p> <p>議会は、大戸地区配水区施設改修について上下水道局から説明を受けています。住民に不安のない事業を進めるよう提言します。</p>	

市民との意見交換会・事後処理報告書

大戸 地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>4. 住所表示について (P 4)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 芦ノ牧地区の住所のことだが、今までの家を解体し新築した。その後、住所に居平がなくなった。他の家庭では居平が、ついている。なぜなのか教えてください。</p> <p>【事後処理結果】 ・市民部市民課からの回答（令和5年12月14日） 昭和42年に住民基本台帳法が施行され、住民基本台帳事務処理要領により「住所は都道府県、市区町村の名称並びに市町村の町または字の区域の名称のほか、地番を記載する。」とされております。一方、大戸地区においては、以前から、小字が付かない住所を使用してきたことから、小字を付けた住所に変更することに対する影響を鑑みて、以前から居住している方については、小字が付かない住所を使用してきた経過があると推察されます。 そのため、昔からの住所の世帯に転入・転居された方については、小字の付かない住所となりますが、全く新規に他地域から転入・転居して来られた方については、同じ地域でも小字が付く住所となりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>	